

リバーサイドガーデン

代表
殿川 美津貴さん



安心安全な地域を目指して 人々の協力で花を咲かせた美化活動

博多港からのフェリーやジェットfoilなど、壱岐の玄関口の1つである芦辺港。この芦辺港へ向かって流れる二級河川、大左右川流域内の環境美化のため、地域住民を中心として発足した「リバーサイドガーデン」。メンバーの皆さんで日々清掃活動に取り組んでいます。「大左右川の周辺は瀬戸小学校や箱崎中学校など子どもたちの通学路になっています。雑草が生い茂っていたため、安全や防犯のためにも雑草を取り除いて、花が咲くキレイな町にしたいと平成9年に立ち上げました」と代表の殿川さん。

現在は2カ月に1度のペースで集まって清掃活動をしています。メンバーは27人。全員があくまでもボランティア。年齢や性別もさまざま、仕事がある人もいます。みんなに無理のないよう、できる時にできる人が協力できるような雰囲気作りや日

程調整を行っています。「大左右川岸に花を植えているのですが、通り沿いの人が花の水やり用に雨水を集めてくれたり、それを通りがかりの人が使って水やりをしてくれたりしています。みなさんの支えがあって見違えるようにキレイになりました。今は芦辺港に置いたプランターの管理もしています」。

当初は大左右川を花いっぱいになりたいとの思いから始まったこの清掃、美化活動ですが、地域住民はもちろんのこと、町外やメンバー以外の協力も多いことが活動の支えとなっています。昨年は日々の活動が認められ平成24年度の河川功労者表彰を受けました。「私たちにとっては当たり前になっていた清掃活動が表彰されてとても驚きました。これからも細く長く、清掃活動を続け、美しい町づくりに貢献したいです」と語ります。

